

# フネアマガイの分布域と生態

開智高等学校 農芸部  
佐伯 峻 佑

## 目的

### フネアマガイとは？

- ▶ 殻長20~25 mmの笠型をした貝
- ▶ 汽水域の石の裏に着生し、藻類を歯で齧りとって食べる



- ▶ 沖縄・瀬戸内海・和歌山に分布



和歌山では過去に5地点で分布が報告されている

- a 広川町唐尾; 多数(1998年)
- b 日高川; 1個体 (1930年)
- c 南部川; 1個体 (1972年)
- d 富田川; 2個体 (1967年)
- e 日置川; 1個体 (1997年)

『和歌山県レッドデータブック』によると…

- ▶ 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
- ▶ 南方系の種類であるために、冬季の低温時に死滅する時があると記載されている

### 本研究の仮説

**背景** フネアマガイは、和歌山県内では過去に広川町唐尾・日高川・南部川・富田川・日置川の計5箇所で分布が報告されている

**仮説** フネアマガイは、和歌山県内で、環境が類似した上記5箇所以外にも分布する

**背景** 和歌山県レッドデータブックには、フネアマガイは「南方系の種類であるために、冬季の低温時に死滅する時がある」とある

**仮説** フネアマガイは、冬にはほとんど確認できない

## 方法

### 1 生物採集

和歌山県の23地点の汽水域において、直径10~20 cm程度の石を裏返して、石に付着している生物を採集

### 2 標本作成

乾燥標本 or アルコール標本を作成

### 3 種同定

和歌山県立自然博物館のご協力をいただき正確に同定

調査期間：2014~2020



## 結果

- 和歌山市 (水 軒)
- 和歌山市 (和田川)
- 和歌山市 (和歌浦)
- 和歌山市 (片男波)
- 海南市 (船 尾)
- 海南市 (冷 水)
- 有田市 (有田川)
- 湯浅町 (広 川)
- 湯浅町 (山田川)
- 広川町 (小 浦)
- 広川町 (唐 尾)
- 広川町 (西 広)
- 日高町 (比 井)
- 御坊町 (日高川)
- みなべ町 (南部川)
- 田辺町 (新 庄)
- 白浜町 (富田川)
- 白浜町 (袋 )
- 白浜町 (椿 )
- 白浜町 (日置川)
- 古座川町 (古座川)
- 那智勝浦町 (粉 白)
- 那智勝浦町 (湯 川)



図1 調査した和歌山県内23地点におけるフネアマガイの分布

	調査日	観察個体	過去の記録
広川町 (唐尾)	2019. 1. 6. 水温17℃	幼貝 10個体	1998年 多 数
	2019. 8.22. 水温27℃	幼貝 40個体 + 成貝 10個体	
広川町 (小浦)	2019. 9.13. 水温28℃	成貝 2個体	なし (本研究が初)
みなべ町 (南部川)	2020.11.15. 水温21℃	幼貝 24個体	1972年 1個体
那智勝浦町 (粉白)	2019. 8. 1. 水温28℃	成貝 30個体	なし (本研究が初)
	2020. 7.25. 水温27℃	成貝 30個体	
那智勝浦町 (湯川)	2020. 8. 9. 水温31℃	成貝 2個体	なし (本研究が初)

図2 各地点のフネアマガイの詳細

## 考察

**結果** 広川町の小浦、那智勝浦町の粉白と湯川においてフネアマガイの分布を初めて確認

**考察** フネアマガイの分布域は、従来考えられてきたよりも広い

**課題**

- さらなる分布域の調査
- 分布域拡大のしくみの解明

**結果** 秋・冬 … 幼貝のみを確認  
夏 … 唐尾を除き、成貝のみを確認

**考察** フネアマガイは、幼貝の状態でも越冬する生活環をもつ可能性がある

**課題**

- 幼貝がどの程度の耐寒性をもつのかの検証
- 南方性の本種が耐寒性をもつしくみの解明
- 夏に唐尾で幼貝が多く見られた理由の解明